

## 当医院での外来口腔管理と 在宅口腔管理の取り組みについて

須磨区・とも歯科医院 坂口 悦子（歯科衛生士）

糖尿病と歯周病に密接な関係があることは周知な事実と、昨今世の中に浸透してきています。聡明な皆様と違い、当医院では知ってはいてもその事実をどう患者さんに伝えるのが良いのか方法が見えず、日々の診療を遅滞なくこなす事だけに注力して現在に至りました。

また、文献データによると、40歳以上の男性の半分と女性の1/3は糖尿病かその予備軍とだそうです。当医院では8月に糖尿病内科医の西田互先生の講演を聞く機会があり、実の所、歯周病との関係云々は知っていたものの患者さんへの働きかけや歯周病治療に対してのアプローチも通り一辺倒しかせず、また内科主治医への情報共有はいよいよ全くしておりませんでした。

例え問診表に全身疾患に関して記入する欄があり、糖尿病と書かれていても、糖尿病と歯周病の関係を踏まえた定期管理の重要性を伝えてきておりませんでした。

9月に入り、糖尿病協会 登録歯科医を申請し、糖尿病専用の情報提供書も作成し衛生士と一緒に学習会を開いて、既存患者さんで定期的に管理している方や新患の方の情報共有書を提出し始めたばかりです。

そんな折、新たに歯周病菌が、アルツハイマー型認知症の原因で有る事を示唆する論文がアメリカで今年1月に神経内科分野で発表された事を知りました。この論文に書かれていることは、胃癌とピロリ菌の感染の関係性が最初信じられていなかった事実に似ています。日本ではアリセプトで有名なエイザイ、米・ファイザー、スイス・ロシュ、スイス・ノバルティス等、巨大プロジェクトで次世代アルツハイマー型認知症治療薬の開発が相次いでとん挫する中での Cortexyme という創薬ベンチャーが Science Advances に報告した論文です。これについても少し触れたいと思います。